

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公表番号】特表2007-504159(P2007-504159A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-524903(P2006-524903)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04	(2006.01)
A 61 K 31/5377	(2006.01)
A 61 K 31/519	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 35/00	(2006.01)
A 61 P 35/02	(2006.01)

【F I】

C 07 D 487/04	1 4 0
C 07 D 487/04	C S P
A 61 K 31/5377	
A 61 K 31/519	
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 P 35/00	
A 61 P 35/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月21日(2007.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

別の実施態様では、R₁は、水素、ハロ、ヒドロキシおよび-NR₆R₇から選択され、R₆は、水素およびC₁-₆アルキルから選択され、R₇はC₆-₁0アリールおよびC₅-₁0ヘテロアリールから選択されるか、またはR₆およびR₇は、R₆およびR₇の両方が結合している窒素と一緒にになって、C₃-₈ヘテロシクロアルキルを形成し、R₇またはR₆およびR₇の組み合わせのアリール、ヘテロアリールまたはヘテロシクロアルキルは、所望により、ハロ、シアノ、C₁-₆アルキル、C₂-₆アルケニル、ハロ-置換-C₁-₆アルキル、ハロ-置換-C₁-₆アルコキシ、-XNR₈R₈、-XC(O)NR₈R₈、-XC(O)NR₈R₈、-XSR₈、-XNR₈S(O)₂R₈、-XNR₈C(O)R₈、-XOC(O)R₈、-XOR₈および-XOR₉から選択される1~3個の基により置換され得、Xは結合またはC₁-₆アルキレンであり、R₈は水素またはC₁-₆アルキルであり、R₉はC₆-₁0アリールである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

Tecファミリーキナーゼ、Bmx、非受容体タンパク質-チロシンキナーゼは、乳房上皮癌細胞の増殖を制御する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

本発明化合物は、慣用的経路により、特に経腸的、例えば錠剤またはカプセル剤の形態で例えば経口的に、または例えば注射可能溶液または懸濁液形態で非経腸的に、例えばローション、ゲル、軟膏またはクリーム形態で局所的に、または鼻適用または坐剤形態での医薬組成物として投与され得る。少なくとも1種の医薬上許容される担体または希釈剤と共に本発明化合物の遊離形態または医薬上許容される塩形態を含む医薬組成物は、混合、造粒またはコーティング法による慣用的方法で製造され得る。例えば、経口組成物は、a) 希釈剤、例えば、乳糖、デキストロース、しお糖、マンニトール、ソルビトール、セルロースおよび/またはグリシン、b) 滑沢剤、例えば、シリカ、タルク、ステアリン酸、そのマグネシウムまたはカルシウム塩および/またはポリエチレングリコール、また錠剤についてはc) 結合剤、例えば珪酸アルミニウムマグネシウム、澱粉ペースト、ゼラチン、トラガカント、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロースナトリウムおよび・またはポリビニルピロリドン、所望ならばd) 崩壊剤、例えば澱粉、寒天、アルギン酸またはそのナトリウム塩、または起泡性混合物；および/またはe) 吸収剤、着色剤、香味料および甘味料と一緒に有効成分を含む錠剤またはゼラチンカプセル剤であり得る。注射可能組成物は、水性等張溶液または懸濁液であり得、坐剤は脂肪性エマルションまたは懸濁液から製造され得る。組成物は、滅菌され、および/またはアジュバント、例えば保存、安定、湿潤または乳化剤、溶解促進剤、浸透圧調節用の塩および/または緩衝液を含み得る。さらに、それらはまた、他の治療上貴重な物質を含み得る。経皮適用に適切な製剤は、担体と共に本発明化合物の有効量を含む。担体は、宿主の皮膚への浸透を助ける吸収可能な薬理学上許容される溶媒を含み得る。例えば、経皮装置は、裏当て部材、化合物を所望により担体と含んでいてもよいレザーバー、所望による長期間にわたって予め定められた制御速度で宿主の皮膚へ化合物を送達するための速度制御バリアー、および皮膚への装置確保手段を含む包帯形態である。マトリックス経皮製剤もまた使用され得る。例えば皮膚および目への局所適用に適切な製剤は、好ましくは当業界でよく知られている水溶液、軟膏、クリームまたはゲルである。それらは可溶化剤、安定剤、浸透促進剤、緩衝液および保存剤を含み得る。